

岐阜県庁でも活躍中！産学連携コーディネーター

岐阜大学 学術研究・産学官連携推進本部では、一昨年度より岐阜県庁にもコーディネーターを派遣し、商工労働部様とともに、多くの企業様を訪問し、産学共同研究に関心を持っていただけるよう努めています。

今回は、その最前線で活躍をされている成瀬コーディネーターにお話を伺いました。

産学連携コーディネーターの成瀬です。私は、岐阜県商工労働部産業イノベーション推進課の地方大学・地域産業創生推進係に出向し、大学と県庁の両方に籍を置き、現在は1週間の内、岐阜県庁に4日、岐阜大学に1日という業務形態で働いています。

業務は主に、県庁の職員と一緒に県内企業を訪問し、企業様の助けになるような補助金の説明や補助金を活用した共同研究の提案を行う事で、この1年半で延べ100社近い企業様を訪問し、ご提案をさせていただきました。

訪問して分かったこととしては、様々な補助金の情報を入手して、積極的に物品購入や研究に補助金を活用されている企業様がある一方、補助金や大学の共同研究をあまり活用したことが無い企業様も少なからずいらっしゃるという事です。

今までに大学の共同研究とは縁のなかった企業様を訪問した際、大学との共同研究をご提案すると、少し敷居が高くて出来ないという本音を漏らされる企業様も相当数いらっしゃり、そのような企業様にも、岐阜大学のシーズや最近の共同研究の事例をご紹介しますと、大学が企業の課題に寄り添った研究を行うなど、想像よりも身近な存在であることに驚かれることも多々ありました。

また、岐阜県庁の一員として業務をさせていただき、コロナ禍や原材料高騰などの事業環境の変化に柔軟に対応し、企業を下支えする為の補助金の検討、立案などを行う職員の姿を間近で見て、その業務と一緒に携われていることを光栄に思っています。

今後も岐阜県の企業様に補助金や大学のシーズなどの情報を提供し、企業のステップアップに活用していただけるよう尽力をしていきます。



地方大学・地域産業創生推進係のメンバーと
県庁前にて撮影(右端:成瀬)

新任産学連携コーディネーターのご紹介

「新しいことが学べ、また子供がお世話になった岐阜大学に少しでも貢献出来れば
と思い本職に応募し、本年6月から務めさせて頂くことになりました。
前職は外資系の半導体メーカー、その前は大手家電メーカーに勤めていました。
そこで培った経験を活かし、産学連携コーディネーターとして、誠心誠意努めて
まいります。」

コーディネーター
永田 康宣

